



三重陸協たより

三重陸協広報部発行

第5号

平成17年9月3日

I H&全日中 価値ある3つの金メダル!

☆ 東海高校新記録=高校歴代6位 18m59

千葉インターハイ初日の8月2日(火), 南幸裕(宇治山田商)選手が男子砲丸投で, 18m59の東海高校新記録で優勝。18mを2人, 17mを7人がオーバーするというインターハイ史上最高レベルの戦いを制しました。

☆ 3年連続入賞=6年ぶりの日本人V

千葉インターハイ2日目の8月3日(水), 今度は高林祐介(上野工)選手が男子1500mで, 見事なラストスパートで優勝(3分49秒63)。高林選手は1年生での800m8位, 2年生で1500m4位に続いて, 3年連続入賞の偉業を達成しました。また, インターハイでこの種目での日本人の優勝は6年ぶり, 全国の日本人選手に勇気をあたえる, 価値ある優勝となりました。

☆ 全日中 女子&リレー種目県勢V=県中新49秒09

岐阜全日中では8月22日(月), 女子最終種目の4×100mRで, 成徳中学校(加藤里奈・愛敬麻矢・愛敬世菜・一村玲伽)が49秒09の三重県中学新記録でぶっちぎりの優勝。全日中での女子の優勝は三重県初めて, また, リレーでも三重県初の優勝という快挙を達成しました。

第58回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 入賞者

(8月2日~6日 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場)

1位	男子	1500m	高林 祐介 (上野工)	3分49秒63	
	男子	砲丸投	南 幸裕 (宇治山田商)	18m59	東海高校新 県高校新
5位	女子	やり投	倉田 実奈 (宇治山田商)	46m84	
6位	男子	5000m	高林 祐介 (上野工)	14分25秒04	
	男子	円盤投	大山 祐史 (伊勢工)	50m30	
7位	女子	4×100mR	津商	47秒84	
			(高橋香央里・一尾 彩加・伊藤 志帆・森田由利恵)		
	女子	走幅跳	遠藤 桃子(桑 名)	5m75	

第32回全日本中学校陸上競技選手権大会 入賞者

(8月20日~22日 岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

1位	女子	4×100mR	成徳	49秒09	県中学新
			(加藤 里奈・愛敬 麻矢・愛敬 世菜・一村 玲伽)		
6位	男子	4×100mR	城田	44秒46	
			(西山 一馬・立野 剛志・佐波 幸輝・奥村 雄正)		

全国小学生大会 小学生も大活躍

男子4×100mR 南勢陸上クラブ8位 入賞

8月27日(土)に国立競技場で行われた第21回全国小学生陸上競技交流大会で、南勢陸上クラブが51秒21で8位に入賞しました。この種目での三重県勢の入賞は14年ぶりになります。入賞のメンバーは次のとおりです。

(1走)野村 卓矢・(2走)曾根 啓登・(3走)中西 太一・(4走)大仲 洋人

※ 今年には小学校・中学校・高校の全国大会において、4×100mRの入賞を果たすことができました。このことは、選手強化と小・中・高の連携がうまくいっていることのあらわれではないでしょうか。三重県の陸上界にとっては、たいへん喜ばしいことです。指導に携わっていただいた方々に、敬意を表したいと思います。

国際大会での活躍&日本代表選手

☆ 小林選手, 2周目まで先頭を引っ張る積極的なレース!

第10回 世界選手権ヘルシンキ大会 結果

(8月6日~16日 ヘルシンキ)

1500m 小林 史和 (NTN) 予選1組 13着 3分51秒76

☆ 高林選手, 1500m優勝!

第13回 日・韓・中ジュニア交流陸上競技大会 結果

(8月25日~26日 札幌市厚別公園競技場)

1500m 高林 祐介 (上野工) 1日目(25日) 1位 3分51秒98

2日目(26日) 3位 4分03秒56

☆ 4名の選手が日本代表!

第16回 アジア陸上競技選手権大会

(9月1日~4日 韓国・仁川)

小林 史和 (NTN) 1500m

梅枝 裕吉(日体大) 3000m SC

第4回東アジア競技大会

(11月1日~4日 中国・マカオ)

隈元 康太 (日体大) 110m H

安田 覚 (三重県教員クラブ) 棒高跳